

第 49 回 (令和 2 年度) 全国豆類経営改善共励会
全国審査会

【日本農業新聞会長賞】

集団の部
農事組合法人ファーム小栗山
(新潟県見附市)

○ 経営の概要

品種名	作付面積 (ha)	2 年単収 (kg/10a)	労働時間 (hr/10a)	費用合計 (円/10a)	品質(1, 2 等比率) (%)
里のほほえみ	6.3	229(141)	5.2	59,733	39.7

注：単収の括弧書きは、新潟県の令和 2 年度平均単収

○ 活動の概要

平成 14 年に小栗山町転作生産組合を設立と同時に大豆栽培をはじめた。大豆栽培においては、碎土率向上に向けた排水対策（弾丸暗渠等）の実施、耕うん同時畝立て播種機による播種、ブロックローテーションの実施、ドローンによる病害虫防除等、生産性向上に向けた積極的な取組を実施している。

経営面でも、完全自動飛行ドローンによる省力化や、農機具メーカーからデモ機を借りての導入検討等、低コストを意識しての経営改善に向けた各種取組に積極的な姿勢が伺える。

この結果、5.2 時間/10a の省力化を実現していることや、県平均が前年より低下する中で、前年度並みの 229kg/10a(県平均の約 1.6 倍)を維持したこと、上位等級比率約 4 割を実現し、技術の励行が成果として現れている。